



# SFoods News

平成21年2月期

平成20年3月1日～平成21年2月28日



代表取締役社長  
村上 真之助

## 事業の概況についてのご報告

当連結会計年度における日本経済の状況は、年度半ばを境に大きく変化し、景気の急激な後退に多くの企業が苦しめられる展開となりました。

このような環境下、当社は経営理念に則り、「おいしさと健康を愛する魅力あるスタミナ食品」を皆様にお届けすることで、「世界に貢献する」べく、企業活動を続けてまいりました。

当社は、国産や輸入の牛肉・豚肉を中心とした食肉の〔卸売事業〕、主に牛肉・豚肉を加工する〔製品事業〕、食肉を中心とした〔小売・外食事業〕の3つを主要な領域として事業活動を進めております。

KOBE WineBeef



Naruo 牧場™

した「Naruo 牧場」と、3ブランドで展開しております。

また、グループ経営戦略として食肉の仕入れルートの強化も進めており、当連結会計年度は、その一環として、肉牛肥育経営のエスファーム株式会社の設立と、食肉商社の株式会社ヒヨウチクの子会社化を行いました。製品事業に関しましては、平成18年に販売再開した「こてっちゃん」の市場への浸透を図り、平成20年3月に全国販売を開始いたしました。また、平成16年から販売を休止していた「こてっちゃん牛もつ鍋」も5シーズンぶりに復活させました。

小売・外食事業につきましては、食肉小売専門店を展開する株式会社オーエムツーネットワークを中心に進めております。当連結会計年度は、将来の発展のための布石として、既存店での入れ替えや経営資源の効率的活用など収益力と財務力の強化に努めると共に、川下事業としてお客様の一層の信頼を勝ち得るべく、コンプライアンスの徹底を図りました。以上の結果、当連結会計年度の売上高は、1,174億7千2百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は51億2千2百万円(前年同期比31.2%増)、経常利益は51億2千8百万円(前年同期比33.3%増)、当期純利益は21億6千2百万円(前年同期比13.7%増)と增收増益になりました。

## 中長期的な経営戦略

昨年後半からの世界同時不況により需給環境が緩み、食肉業界にとっては調達がしやすい状況になってきてています。しかしながら、飼料や食肉の多くを輸入に依存するわが国にとっては、基本的構造に変化はなく、近い将来、食料の安定供給が大きな課題になることは想像に難くありません。従来から国内外の食肉の供給ルートに独自のパイプを持つ当社は、長期的視点に立ち、自社の持つ機能を最大限に生かして、食肉を中心としたサプライチェーンを構築することにより、日本の食品の卸売事業に関しましては、オリジナルのブランド牛肉の拡販に取り組んでおります。良質な国産牛にワインの製造過程でできるブドウの搾りかすを飼料として与え育成した国産牛ブランド「神戸ワインビーフ」、本物の和牛にこだわり、当社独自のプログラムで育成した和牛新ブランド「WAGYU MASTER」、世界最高水準の安全基準により豪州で日本仕様に育成

安全保障と安定供給に貢献してまいります。中長期的には、国内においては関係企業との連携を深め、生産・仕入から小売・外食にいたる食肉を中心とした総合食品企業グループを形成すること、国外においては、国際的な食肉供給販売ネットワークを確立することを目指しております。このような事業活動を通じ、日本の畜産業の発展と食肉の安定供給に貢献していくことが当社グループの最大の使命であると考えております。

## 対処すべき課題

対処すべき当面の課題は、事業基盤の面からは昨年に引き続き、豪州・米国を中心とする食肉の海外原料調達ルートの多様化と安定化を図ること、和牛を主とする国産牛の海外での販売ルートを確立すること、国内市場で地域に密着した販売体制をより強固なものとすること、特に首都圏市場を抱える東日本での事業展開を進めること、「こてっちゃん」をはじめとする食肉製品ラインアップの充実とともに、時代のニーズにあった新製品



こてっちゃん陳列風景

の開発によりマーケットシェアを拡大することあります。またグループ経営体質強化の面からは、人材育成策を重層的に行い企業体質を強化することと、内部統制を確立しコンプライアンス経営をより発展的に進めて行くことあります。

## 今後の見通し

世界的な景気後退の流れを受け、国内においても景況が悪化しております。消費者にも節約志向の行動様式が見られるようになってきました。食品関連では、外食を控え家庭内での食事(内食)を重視する家庭が増えています。

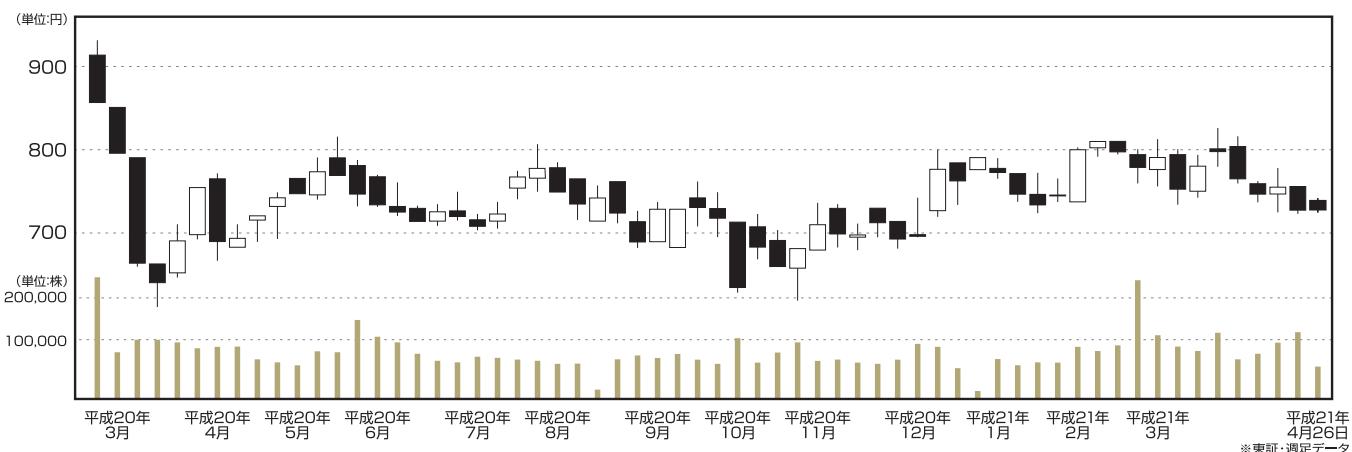
当社ではこの内食回帰の流れをつかみ、それぞれの事業領域において、消費者の志向に合わせた商品展開を進め、安定的な収益増加を目指しております。次期の見通しにつきましては、売上高1,230億円(前年同期比4.7%増)、営業利益52億円(前年同期比1.5%増)、経常利益52億円(前年同期比1.4%増)、当期利益22億円(前年同期比1.7%増)を見込んでおります。

## ■ 営業成績と財産状況の推移(連結)

期別区分	第41期 平成19年2月期	第42期 平成20年2月期	第43期 平成21年2月期	第44期見通し 平成22年2月期
売 上 高	114,150	113,707	117,472	123,000
営 業 利 益	3,961	3,903	5,122	5,200
経 常 利 益	4,232	3,847	5,128	5,200
当 期 純 利 益	1,581	1,901	2,162	2,200
総 資 産	45,845	50,587	50,721	
純 資 産	32,336	33,820	33,069	
1 株 当 り の 年 間 配 当 金	16円	20円	22円	22円

単位:百万円(配当金を除く)

## ● 株価の推移と株式の売買高



# インフォメーション

## 【新製品のご案内】



甘辛しょうゆ味



にんにくが香る博多の老舗もつ鍋をモデルにした甘辛しょうゆ味。

コク旨みそ味



人気の「鉄板焼鍋のたれ」をベースにした、コク旨あわせ味噌味。

## 【株主ご優待のお知らせ】

エスフーズが株主の皆さまだけにお届けする「ご優待セット」。  
保有株式数に応じて2タイプをご用意しました。

### 対象:

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(500株)以上保有の株主さま

贈呈時期:  
11月(予定)

### ご優待内容:

500~1,999株保有の株主さま  
「3,000円相当の自社製品  
(ローストビーフ等)」

2,000株以上保有の株主さま  
「10,000円相当の国産牛肉(和牛)」

### 国産牛肉(和牛)



弊社が厳選した国産牛肉の逸品。しゃぶしゃぶ、ステーキ、焼肉等、株主さまのご指定のカットでお届けします。

### ローストビーフ



人気の高い「Naruo牧場」ブランドのもも肉を、肉の旨味をのがさずブロックのまま焼き上げた至高のローストビーフです。

※写真はイメージです。料理写真的野菜、什器等はご優待セットには含まれていません。

## 会社概要

社名	エスフーズ株式会社 SFoods Inc. (コード番号 2292東証・大証1部)
設立	昭和42年5月22日
代表者	代表取締役社長 村上真之助
資本金	42億9,835万円
事業内容 (グループ)	食肉の卸売事業、製品事業、小売・外食事業

## 株式メモ

■事業年度	3月1日～翌年2月末日
■期末配当金受領株主確定日	2月末日
■中間配当金受領株主確定日	8月31日
■定期株主総会	毎年5月
■株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
■上場証券取引所	東京証券取引所・大阪証券取引所
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html">http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html</a>

### (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■単元株式数	500株
--------	------



エスフーズ株式会社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13 TEL.0798-43-1065 (代表)

<http://www.sfoods.co.jp/>



この冊子は、100%再生紙を使用し、印刷には大豆油インキを使用しています。